

今週のお祈り 大齋節第4主日特権

恵み深い父なる神よ、み子は、すべての人のまことの命のパンとなるために、天からこの世に降られました。どうかこの命のパンによってわたしたちを養い、常に主がわたしたちのうちに生き、わたしたちが主のうちに生きられるようにしてください。父と聖霊とともに一体であって世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン



日本聖公会 東京教区
聖パウロ教会 にちようがっこう

〒153-0053 目黒区五本木 2-20-1
でんわ: 03-3710-6031

号外 292

発行日
2026年
3月15日

今週の聖書 ヨハネによる福音書 9:1-13、28-38

1 さて、イエスは通りすがりに、生まれつき目の見えない人を見かけられた。2 弟子たちがイエスに尋ねた。「先生、この人が生まれつき目が見えないのは、誰が罪を犯したからですか。本人ですか。それとも両親ですか。」3 イエスはお答えになった。「本人が罪を犯したからでも、両親が罪を犯したからでもない。神の業がこの人に現れるためである。4 私たちは、私をお遣わしになった方の業を、昼の間に行為ねばならない。誰も働くことのできない夜が来る。5 私は、世にいる間、世の光である。」6 こう言ってから、イエスは地面に唾をし、唾で土をこねてその人の目にお塗りになった。7 そして、「シロアム——『遣わされた者』という意味——の池に行つて洗いなさい」と言われた。そこで、彼は行つて洗い、見えるようになって、帰つて来た。8 近所の人々や、彼が物乞いをしていたのを前に見ていた人々が、「これは、座つて物乞いをしてきた人ではないか」と言った。9 「その人だ」と言う者もいれば、「いや違う。似ているだけだ」と言う者もいた。本人は、「私がそうです」と言った。10 そこで人々が、「では、お前の目はどのようにして開いたのか」と言つと、11 彼は答えた。「イエスという方が、土をこねて私の目に塗り、『シロアムに行つて洗いなさい』と言われました。そこで、行つて洗つたら、見えるようになったのです。12 人々が『その人はどこにいるのか』と言つと、彼は『知りません』と言つた。13 人々は、前に目の見えなかった人をフアリサイ派の人々のところへ連れて行つた。28 そこで、彼らは罵つて言つた。「お前はあの者の弟子だが、我々はモーセの弟子だ。29 我々は、神がモーセに語られたことは知つているが、あの者がどこから来たのかは知らない。」



聖書からのメッセージ 執事 林 汶慶

今、このメッセージを見ているみんなは、目で物を見ることが出来るね。でもイエスさまは、こんなことを言われた。「見えない人は見えるようになり、見える人は見えなくなる。」
本当に大切なのは、目で物が見えるかどうかではなく、神さまのことが分かるかどうかなのだ。神さまは目では見えない。でも、神さまは心で見ることが出来るのだ。
神さまを心で見ると人は、本当に「見える人」なのだ。

い。「30 彼は答えて言つた。「あの方がどこから来たか、ご存じないと、実に不思議です。あの方は、私の目を開けてくださったのに。31 神は罪人の言うことはお聞きにならないと、私たちは承知しています。しかし、神を敬い、その御心を行う人の言つことは、お聞きになります。32 生まれつき目が見えない者の目を開けた人がいるということなど、これまで一度も聞いたことがありません。33 あの方が神のもとから来たのでなければ、何もおできにならないはずですよ。」34 彼らは、「お前は全く罪の中に生まれたのに、我々に教えようというのか」と言い返し、彼を外に追い出した。35 イエスは彼が外に追い出されたとお聞きになった。彼と出会うと、「あなたは人の子を信じると言われた。36 彼は答えて言つた。「主よ、それはどなたですか。その方を信じたいのですが。」37 イエスは言われた。「あなたは、もうその人を見ている。あなたと話しているのが、その人だ。」38 彼が、「主よ、信じます」と言つて、ひれ伏した。